

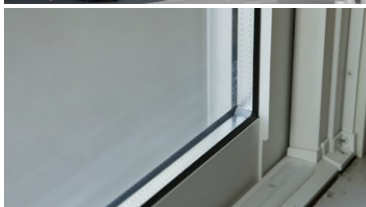
補助金を上手く活用し、 より住みやすい環境に！

管理組合 加藤さん

地建設から40年が経ち、窓枠サッシの老朽化も進んできたことから、専門委員会を立ち上げ、更新工事の検討を始めました。当初は資金面からアルミサッシでの改修を考えたのですが、「先進的窓リノベ事業」の補助金が活用できたことから、より断熱効果の高いアルミ樹脂複合サッシでの更新に計画を変更しました。その後、組合総会の承認のもと、13棟362戸のすべての住戸で外窓交換を行いました。

改修により、窓の中央の棧(さん)がなくなり、明るく開放的な室内になりました。また、隙間風も減り、特に冬場の断熱効果を実感しています。

今後も住戸の価値を下げないよう、居住者の住みやすい環境をつくってまいります。



全住戸で外窓交換を実施

補助金が活用できる 今がチャンス！

リフォーム事業者 織多さん、増田さん



分譲集合住宅の窓は共用部分にあたるため、外窓改修をする場合は管理組合員の合意を得る必要があります。

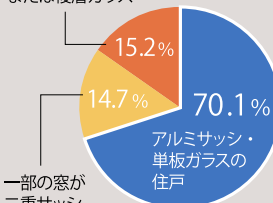
さらに、改修の際には住民の積立による修繕積立金を使うことになるため、より多くの住戸で改修することが求められます。多くの住戸で改修することで、建物全体での資産価値の向上にもつなげることができます。

外窓改修は築30年前後の建物が適齢期といわれていますが、「先進的窓リノベ事業」が活用できる今が改修の良い機会だと思います。

補助金の交付申請の際には、まとめて申請できる一括申請が大変便利です。

窓断熱リフォームは、光熱費の削減につながります！

全部の窓が二重サッシ
または複層ガラス



日本の住宅の約7割は
窓断熱がない住戸！！

窓断熱リフォームを実施すると、
光熱費の削減が期待できます！

妻住戸：約2万円/年 中住戸：約1万円/年

※妻住戸：住棟の端にある住戸
中住戸：間を他の住戸に挟まれた住戸

窓断熱リフォームを行った事例動画もぜひご覧ください。



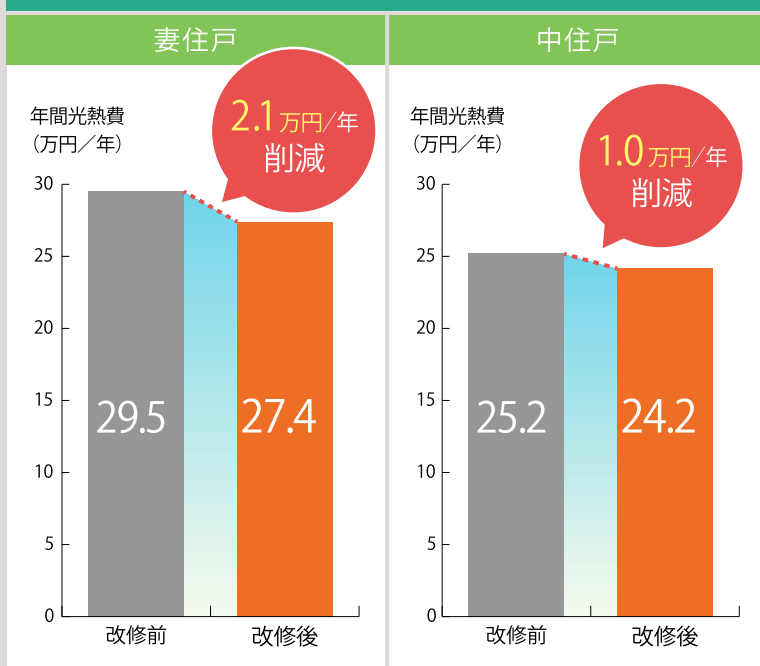
環境省 youtube チャンネル
「先進的窓リノベ 2024 事業活用セミナー」
特集動画②(分譲集合住宅編)



【試算条件】

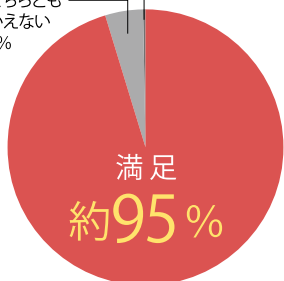
- ・延床面積70㎡の3LDK、地域区分6（主に関東～九州等）・無断熱の集合住宅において、グレードSの窓（熱貫流率Uw=1.5）への窓断熱リフォームを実施した際の光熱費削減効果について、WEBプログラム(住宅に関する省エネルギー基準に準拠したプログラム)により試算したものです(電気代は東京電力及び東京ガスの2023年3月時点の料金表を用いて計算)
- ・上記の結果は、延床面積や地域区分、電力会社の契約内容や料金の変更等により変動しますので、目安としてご活用ください。
- ・試算の詳細及び他の条件による試算結果などは、先進的窓リノベ運営支援室のウェブサイトからご確認ください。(<https://window-r-support.jp/>)

無断熱の集合住宅における削減効果



手軽に実施可能&満足度も非常に高い窓断熱リフォーム！

不満0.1%
どちらとも
いえない
5%



窓の断熱リフォームを実施した消費者の
約95%が、『満足*』と答えています。

※先進的窓リノベ2024事業を活用した消費者向けの
調査(環境省実施)の結果による。

冬の窓辺も快適になった／西陽がやわらいだ／空調の効きが良くなった／防音効果が高まり静かになった／電気代が下がった・・・など、快適性向上・省エネ効果を実感する声が多く寄せられました。

環境省の窓断熱リフォームへの補助制度は「先進的窓リノベ2025事業事務局サイト」

<https://window-renovation2025.env.go.jp/>

※地方公共団体の補助制度に関しては、一般社団法人住宅リフォーム推進協議会の検索ページを参考にしてください。
<https://www.j-reform.com/reform-support/>

※環境省では、窓の断熱改修を含め、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動「デコ活」を進めています。詳しくはこちら。

